

インターバンクの声（2016年7月19日）

英国が国民投票で欧州連合(EU)からの離脱を決めてから1ヶ月も経たない内に、今度はトルコで軍の一部によるクーデター未遂騒動が起こった。結果的にはクーデターの試みが比較的短時間で鎮圧され、クーデターが起きたとの報道が伝わったのも金曜日のニューヨーク市場が引ける頃だったので、市場への影響も限定的となったようだ。それでも報道を受けて安全資産の円を買う動きからドル/円が一時104円台に下落、トルコ・リラが前日から約5%急落する場面があった。仮にクーデターが鎮圧されずトルコの政変が進んでいけば、トルコ・リラの続落はもとより、主要通貨にも大きな影響が出ていたかも知れない。この2、3年はもたついているが、2002年以降のトルコの経済成長は著しく、とても今回のようなクーデターの企てが起こるようなことは考えていなかった。頻発していたテロもIS絡みだと思っていたが、複雑な宗教的背景もさることながら、経済成長による貧富の格差是正も成長が止まれば再び浮き彫りになっていたようで、トルコ情勢に詳しい人達には今回のクーデター騒動も想定内だったらしい。とにかく年後半も世界中で政治的な混乱が起こることに注意しておいたほうが良さそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。